

ADVERTISING FEATURE

広告企画

メタリック素材

多様な加工技術によって表情が変化する金属・金属調の素材。
美しい煌めきを与える金属特有の素材感は、
床や天井、壁など広い面積に用いることで空間の印象が大きく変わります。
インダストリアルデザインにはロートアイアンや粗めの加工を施した金属が多く見られ、
洗練された和風空間には金箔や緑青などがアクセントとなります。
本企画では、施工事例を基に多種多様な金属・金属調の素材を
取材記事および製品記事で紹介します。

※価格は税込金額です。

※掲載製品に対する資料請求は、
ネットからご請求いただくと早くて便利です。
<https://www.shotenkenchiku.com>
「コンテンツ」→「メーカーカタログ請求」



※ウェブメディア「id+」でも
記事をご覧いただけます。
<https://www.shotenkenchiku-plus.com/>



アルマイト仕上げでさらに進化したデザインパネル アーキスキン

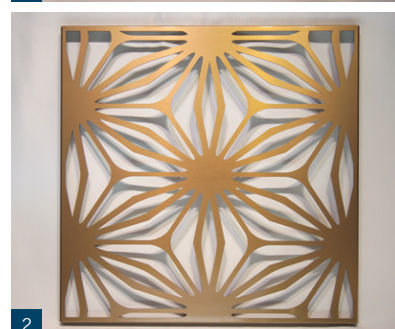
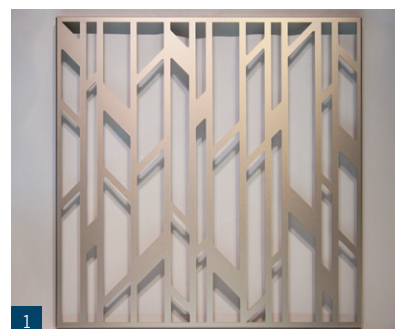
「アーキスキン」はその名が示すように建築の“皮膚”をうたう。厚さ2mmのアルミにレーザーカットでグラフィカルな意匠を施しパネル化したもので、建築の内外装を覆うことができる。

パネルのサイズは標準で900mm角と1350mm角、特注対応も最大で1350×2850mmまで可能だ。取り付けの納まりは3種あり、「目地無し挟み込み」・「目地付け」・「本体への正面付け」を用意し、現場によって相談もできる。グラフィックのパターンは、2024年に9柄増えて、59柄から選べるようになった。もちろんオリジナルデザインも可能で、アイデアからデザインの細かな処理、データの扱いなど、グラフィックデザインのサポートや提案はマイサの得意分野でもある。柄種については今後もニーズをくみ取って増やしていくという。仕上げは標準で白（全艶）と黒（半艶）の粉体塗装。より多彩な色が選べるアクリル塗装や耐候性の高いフッ素樹脂塗装も特注でそろえている。さらに、2024年1月よりアルマイト処

理（全12種・艶有り／無し）が加わった。電解処理で酸化皮膜をつくるアルマイトは、耐候性など表面性能が上がるだけでなく、塗装やメッキよりも皮膜が薄いため、金属ならではのシャープなエッジを保ちつつ、美しいメタリックの質感を見せる。時代性に合わせたラグジュアリーな雰囲気づくりなどで人気が出そうだ。

「アーキスキン」は、仕様上、“抜き”とクリアランス（50mm）があるため、照明とのマッチングは相性抜群だ。環境光と内部の照明との明るさのバランスで見え方が変わり、空間に多彩な表情を生むことができる。設計者が迷わないで済むように、同社では照明器具とセットでの提案も進めている。また、アルミは軽量なため、天井や家具などの造作にも設置しやすい。

豊富な柄から多彩な仕上げ、納まりや照明まで、設計者が選びやすいさまざまなオプションを用意しており、“デザイナーフレンドリー”が「アーキスキン」の大きな特徴でもある。

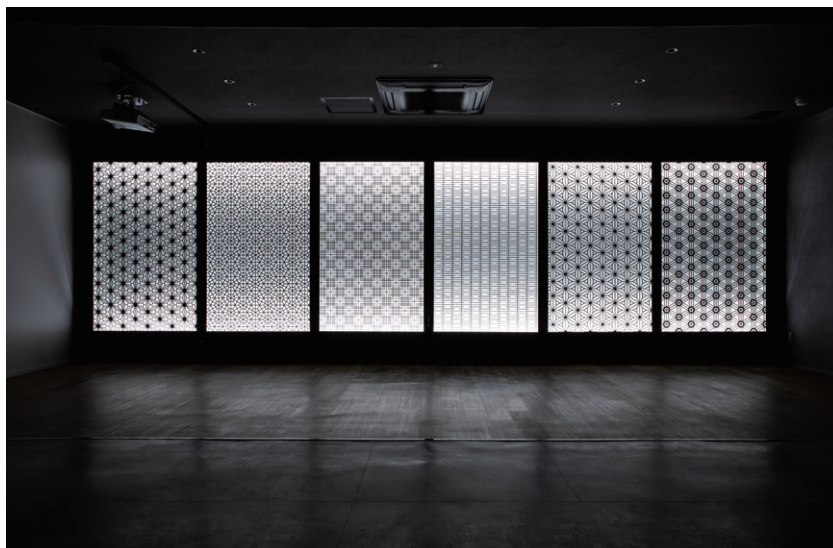


アルマイト処理を施し、耐候性を向上させたアーキスキンのパネル。写真1はマット塗装のクリスタル柄。写真2はツヤ塗装の花切子柄。パネルは1枚から発注できる

写真3は「アーキスキン」を導入した、埼玉県所沢市にある秋草学園短期大学の体育館前ホール（設計・施工／乃村工芸社 NAV・IVD）。天井と壁面にアーキスキンを施工、内照された光が拡散し、美しい紋様を描き出している。グラフィックは同短期大学の学生からデザインを募り採用されたオリジナルのもの



製品紹介 ——— Product Introduction



最新のレーザーカット技術を
駆使してつくられる鉄製品

maasa

正確かつ緻密な切断や加工に対応するレーザーカッティングマシンを始め、各種金属加工設備によってつくられる鉄製品。伝統の鹿沼組子の模様を取り入れた「maasa EDO style」や、書道家による書を再現した「鉄書」のほか、オリジナル製作も受け付ける。ワンオフ製品から量産品まで幅広く対応。鉄のほか、銅や真鍮、ステンレスでの製作も可能で、インテリアアプロダクトから内装・外装材までさまざまな応用できる。

植木鋼材

URL◎<https://u-maasa.com/>

電話◎ (028) 633-5225

〔資料請求番号 702〕

淡い輝きの移ろいを表現したステンレス仕上げ シルキーブラスト・グラデーション

「シルキーブラスト・グラデーション」は、鏡面のような光沢からすりガラスのような淡い輝きまでを美しいグラデーションで表現できる金属仕上げ。ブラスト加工時の目の細かさを徐々に変化させる独自技術によって製作され、ステンレス特有のシャープな質感と絹のような柔らかな質感が高級感が漂う空間を創出する。オーダー製作のためグラデーションの濃度や長さは自由に設定可能。板厚は0.5mm以上、最大製作可能サイズはw 1200×h 4000mm。

菊川工業

URL◎<https://www.kikukawa.com/>

電話◎ (03) 3634-3231

〔資料請求番号 703〕



ニューテクスチャーを採用したアルミルーバー リグナム

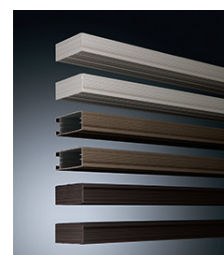
「リグナム」は、ルーバー表面に天然木の持つ様相を周波数化して再現した、独自形状仕上げのアルミルーバー。天然木が持つゆらぎ感を内包した表層で、小口面にも全く同じテクスチャーと素材を使用し、ルーバー本体と小口が一体化した意匠であるほか、ビスのない美しい無垢感を感じられる仕様となっている。さらに、ルーバー表面の凹凸が太陽光を拡散・乱反射させるため、目隠しルーバーにありがちな眩しさを低減する効果もある。ルーバー形状は全11タイプを用意。縦張り、横張りともに対応可能。

エービーシー商会

URL◎<https://www.abc-t.co.jp/>

電話◎ (03) 3507-7194

〔資料請求番号 704〕





液体金属塗料コーティングによるサイン表現

META-CAST sign

オミノの「META-CAST sign (メタキャストサイン)」は、液体金属塗料を用いたコーティングサイン。イギリス・リクイメット社が開発した液体金属塗料とオミノのサイン製作技術を融合し、さまざまな素材を鋳物や金属の質感に変化させ、デザイナーのオリジナリティをサインで表現する。基材はABS、アクリル、木材、発泡材など幅広く選択可能で、軽量で安全・迅速な施工をかなえる。また、金型製作が不要のため、短納期、低コスト、小ロットでの製作ができるのも嬉しい点だ。カラーはブラス、ブロンズ、アイアンなど9種を用意する。LEDとのコンビネーションや異素材との組み合わせなど、サイン専門の同社ならではの提案も行う。

オミノ

URL◎<https://omino.ne.jp/>

電話◎ (03) 6658-4147

〔資料請求番号 705〕

アルマイト処理によりさらに金属の質感が高まったアルミパネル ArchiSkin

「ArchiSkin (アーキスキン)」は、屋内外で使えるアルミ製デザインパネル。形状は59柄を用意し、オリジナルデザインにも対応する。2024年からは新たにアルマイト処理を施した12種のカラーを展開。耐候性が向上するとともに、エッジの効いた金属の質感がより高まった。環境光や照明との相性が良く、演出次第で多様な表情が生み出せる。標準規格の900mm角と1350mm角を用意するとともに、現場に合わせたサイズやカラーで製作可能なため、計画中のデザインにも簡単に組み込むことができる。最大製作サイズ：2850×1350mm。

マイサ

URL◎<http://www.mysa.co.jp/>

電話◎ (092) 736-0113

〔資料請求番号 706〕



特殊金属塗装技術

硫化いぶし色仕上げ

光栄プロテックが手掛ける「硫化いぶし色仕上げ」は、本来は銅合金に施される「硫化いぶし」の風合いを銅合金以外のスチールやステンレス、アルミといった金属で表現した特殊金属塗装仕上げ。単に塗装で色合いを似せるのではなく、独自の技術により硫化いぶしの持つ重厚感や高級感のある色彩を再現する。塗装工法のため、銅系や真鍮系の色味などは自由に選べるほか、色調は淡色、中間色、濃色を基準色とし、要望に応じて色味調整も可。表面のテクスチャーはヘアラインとパイプレーションの2種類、仕上げ後は美観保護のため、クリア塗装を施す。標準は3分艶だが、艶も調整可。

光栄プロテック

URL◎<https://koeip.co.jp>

電話◎ (072) 859-1365

〔資料請求番号 707〕



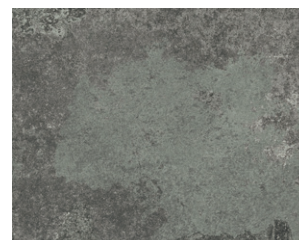
風化した金属の錆模様を再現したタイル ブルックリン

使い込まれた金属の錆模様を忠実に再現したセラミックタイル。表面を半磨きで仕上げることで金属が持つ重厚感を際立たせている。実際の金属のような腐食の進行に伴う汚れもなく、水まわりなどでも安心して使用できる。錆鉄板の表情を持つ「ラステック」を始め「シルバー」「グリーン」「モス(写真)」「ロイヤルブルー」「ブラック」の全6色をラインアップ。サイズ:600×1200×t10.5mm、価格:17,380円/㎡。

アドヴァングループ

URL◎<https://www.advan.co.jp/> 電話◎(03) 3475-0194

〔資料請求番号 708〕



黒色めっき鋼板 黒ZAM

「黒ZAM(ザム)」は、特殊な処理によりめっき層自体を黒色化した環境に優しいめっき鋼板。プレスなどの加工を施しても黒色の外観を維持でき、金属素材の持つ重厚感を表現できる。写真の熊本城ホールシビックホールでは、ケーブルラックやレースウェイなどの電路支持材に「黒ZAM」製の製品が採用された。塗装工程を省略できるため、施工時や製造時のCO₂排出を低減する。内装用建材を始め、自動車・家電・家具などのプロダクトまで幅広い用途で活用されている。板厚は0.4～2.3mmの範囲で製造可能。

日本製鉄

URL◎<https://www.nipponsteel.com/product/use/design/>

電話◎(03) 6867-5307

〔資料請求番号 709〕

